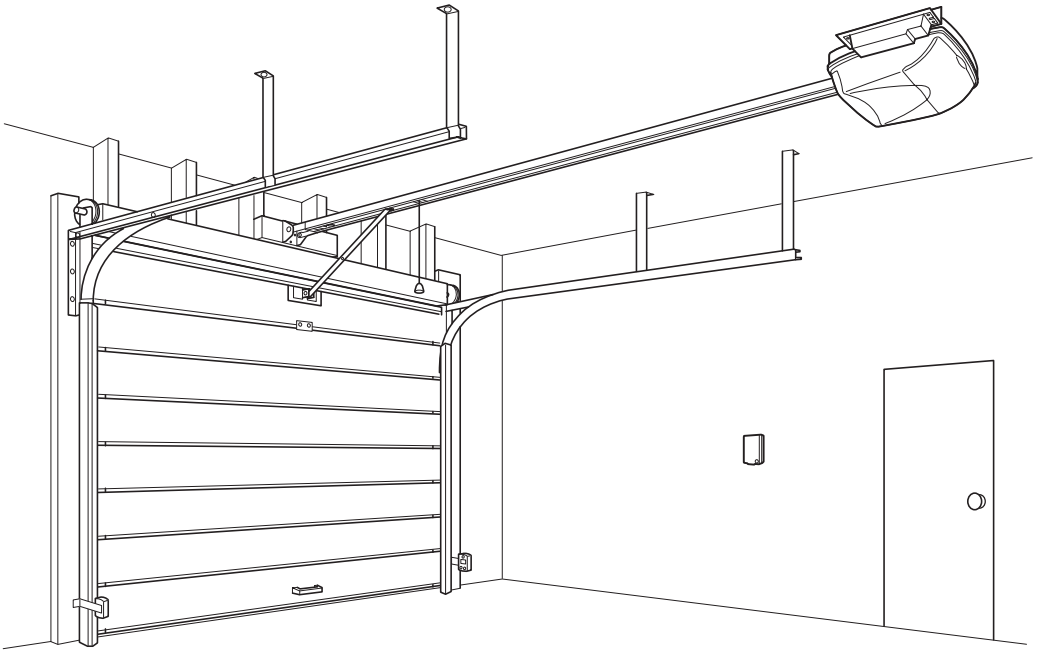
S223

住宅用オーバースライディングドア
フラットピット
フラットピットBA（CP防犯性能の高い建物部品）

取扱説明書



ご使用の皆様へ

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
わからないことや不具合が生じた時にはもう一度ご覧ください。
また、いつでも使用できるように大切に保管してください。

建設会社、お施主様へ

この取扱説明書をご使用になる方へ必ずお渡しください。

BX 文化シヤッター

安全にお使いいただくために
目次
はじめに
ご使用上の注意
製品の概要
ご使用方法
お手入れ方法
点検
故障かなと思ったら
商品履歴管理システムについて
ご案内
修理の
製品保証

安全にお使いいただくために

- 「フラットピット」のご使用前に「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、充分理解していただいてからご使用ください。
- 長期間正常なご使用ができるように、「定期点検契約」を結んでいただくようお願いいたします。

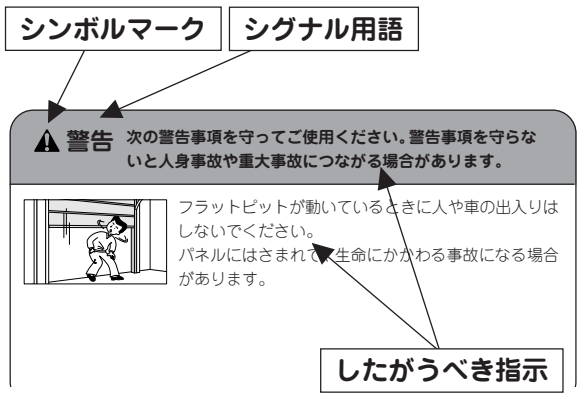
- 安全にご使用いただくために特に大切な「お知らせ」には、次のようなシンボルマークとシグナル用語を使用しています。

⚠ 危険　取扱いを誤った場合に、使用者または不特定多数の第三者が、死亡または重傷を負う可能性があり、かつその危険性と隣りあわせであることを示しています。

⚠ 警告　取扱いを誤った場合に、使用者または不特定多数の第三者が、死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠ 注意　取扱いを誤った場合に、使用者または不特定多数の第三者が、軽傷を負うかまたは物的損害を被る可能性があることを示しています。

本文では以下のように使用します。



「シグナル用語」に続くしたがうべき指示を十分守らないと、人身事故につながることになります。

- 上記以外の「お知らせ」には次のようなシグナル用語を使用しています。

注　記　取扱いを誤った場合に、本製品に故障が発生したり、性能が発揮できないことが想定される場合。

はじめに

- この取扱説明書は、実際に「フラットピット」をご使用になる方（管理者・オーナー）のためにご使用方法を説明したものです。
- 最初に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、「フラットピット」をご使用ください。
- 経験者の方でも、少しでも不確かな点がありましたら、この取扱説明書をよくお読みのうえ、確かめてから「フラットピット」をご使用ください。

目　次

1. ⚠ ご使用上の注意 2
　表示ラベルについて 2
　ご使用上の注意 3

2. 製品の概要 8
　本体の名称 8
　操作スイッチ 8
　製品仕様 9
　防犯性能の高い建物部品について 9

3. ご使用方法 10
　無線リモコン・押しボタンスイッチによる操作 10
　ライトの点灯・消灯 15
　リモコンの電池交換 16
　リモコン（ID コード）を追加登録する方法 17
　リモコン（ID コード）を抹消する方法 19
　リモコン（ID コード）の管理のお願い 21
　スイッチ操作の切替方法（セレカードⅢ 3 点式のみ） 22
　光電センサの動作 24
　負荷感知装置が負荷を感知した場合の動作 25
　非常時（停電時）の使い方 26

4. お手入れ方法 28
　お手入れの仕方 28

5. 点検 30
　日常点検 30
　定期点検と定期的な部品交換について 30

6. 故障かなと思ったら 32

7. 商品履歴管理システムについて 33

8. 修理のご案内 33

9. 製品保証 ..... 裏表紙

1. ⚠ ご使用上の注意

- この章に記載されている内容をすべて読み、完全に理解したうえで「フラットピット」をご使用ください。
- この取扱説明書は必要なときに、いつでも取り出して読めるように大切に保管してください。
- 「フラットピット」に貼付けされている表示ラベルと、この取扱説明書に表示されているすべての注意および指示に必ずしたがってください。

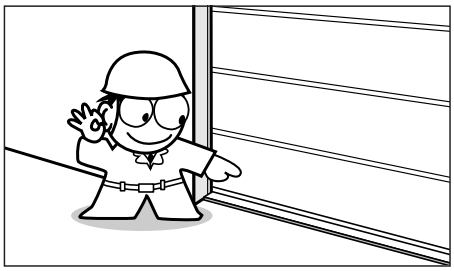
表示ラベルについて

- 本製品には、危険と安全に関する警告情報を記載した、以下の表示ラベルを貼付けています。表示ラベルの指示には必ずしたがってください。

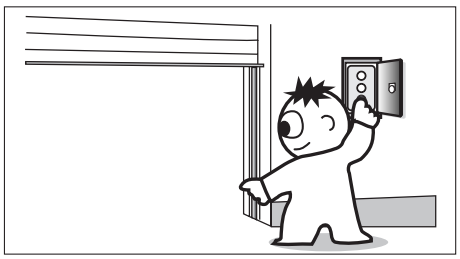
- 表示ラベルが汚れたり、はがれたりした場合は、最寄りの文化シヤッター営業所までご連絡ください。

ご使用上の注意

警告 次の警告事項を守ってご使用ください。警告事項を守らないと人身事故や重大事故につながる場合があります。

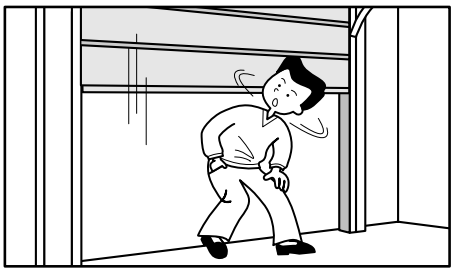


フラットピットを長期間に渡って安全に使用するためには、定期点検と定期的な部品交換が必要です。
30 ページをご覧いただき、必ず実施してください。

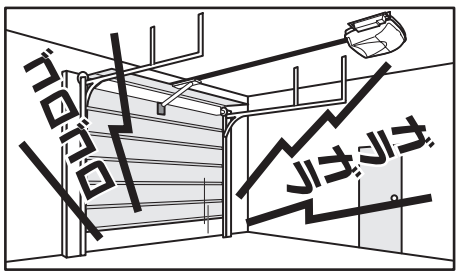


開閉操作する際、フラットピットの下に人がいないこと、物がないことをご確認ください。

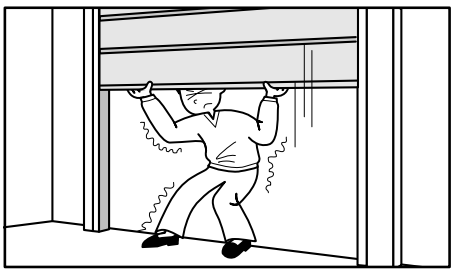
パネルが動いている間はそばを離れず、目を離さないようにしてください。
第三者がはさまれて生命にかかわる事故になる場合があります。



パネルが動いているときに人や車の出入りはしないでください。
パネルにはさまれて、生命にかかわる事故になる場合があります。

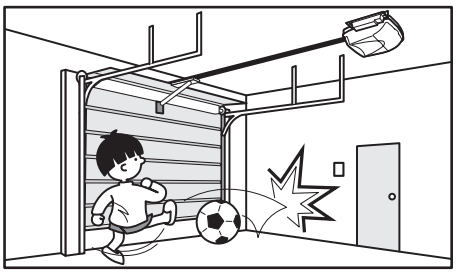


以下の現象が起きたときは、ただちに使用を止め33 ページに記載してある文化シヤッターサービスに修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、生命にかかわる事故になる場合があります。
・パネルの動きがおかしいとき
・異常音がしたとき

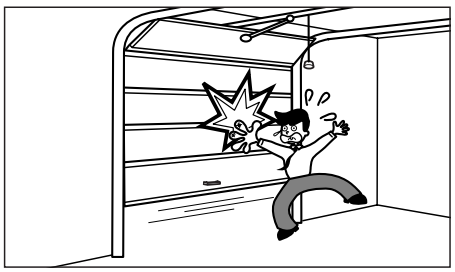


動いているパネルに手をかけたり、手で止めたり、ぶらさがったりしないでください。
パネルにはさまれて生命にかかわる事故になる場合があります。

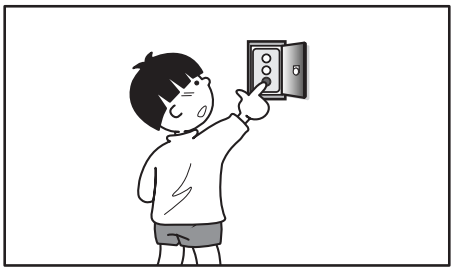
警告 次の警告事項を守ってご使用ください。警告事項を守らないと人身事故や重大事故につながる場合があります。



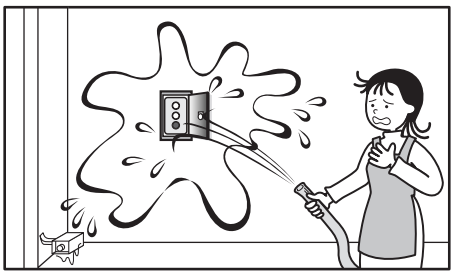
フラットピットの下やその付近に、子供がいないことを確認のうえ操作してください。
思わぬ大けがをする場合があります。



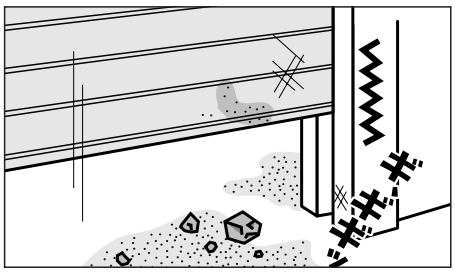
非常時(停電時)に手動でパネルを降ろす場合、パネルとパネルの間に指をかけないでください。指をはさんでけがをする場合があります。



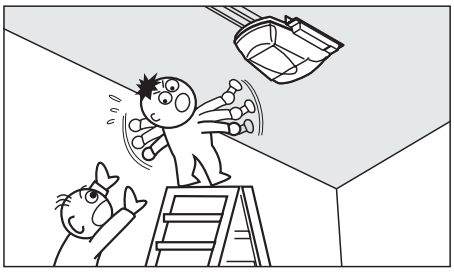
子供には、押しボタンスイッチを操作させないでください。また、使用しない場合は、押しボタンスイッチに簡易錠をかけて、いたずらなどの防止をしてください。
誤ってはさまれたり、思わぬ大けがをする場合があります。



押しボタンスイッチや光電センサには水をかけたりしないでください。
漏電のためパネルが勝手に動きはさまれたり、感電したりして、生命にかかわる事故になる場合があります。

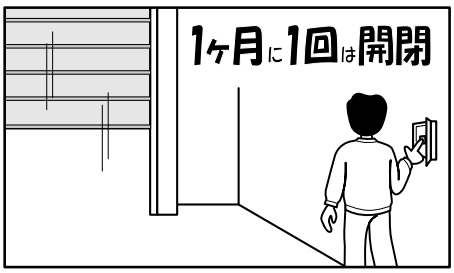


周辺の床はいつも清掃してください。
座板が泥や小石をはさむと、故障の原因となります。



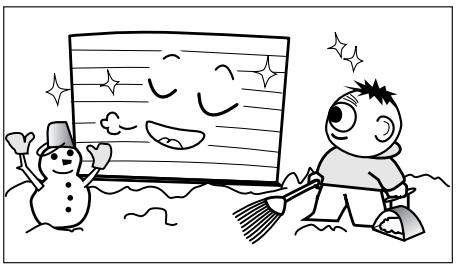
手動に切り替える際は、10ページ記載の「3. ご使用方法」の手順を必ずお守りください。
これらに高所作業を伴う場合は、ヘルメット・安全帯の着用、必要な足場の確保など、墜落・転落事故を予防してください。
高所作業の際、少しでも不明な点、不安な点がある場合は33ページ記載の文化シヤッターサービスまで作業をご依頼ください(ご依頼いただいた場合、有償になります)。

警告 次の警告事項を守ってご使用ください。警告事項を守らないと人身事故や重大事故につながる場合があります。



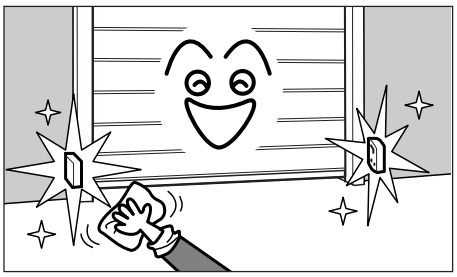
少なくとも1ヶ月に1回は開閉してください。
長期間使用しないと開閉不良を起こすおそれがあります。

フラットピットの分解や改造は絶対にしないでください。
分解や改造が原因で、生命にかかわる事故になる場合があります。内部点検、調整修理は33ページに記載してある文化シヤッターサービスにご依頼ください。

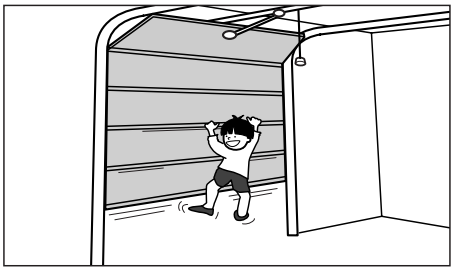


パネル表面の凍結・着雪を取り除いてからご使用ください。
パネルが凍結したり、着雪した状態で開閉すると、氷や雪の厚みで破損し、思わぬけがをする場合があります。

⚠ 注意 次の注意事項を守ってご使用ください。注意事項を守らないとけがや事故につながるおそれがあります。

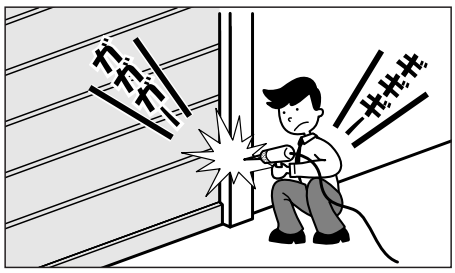


1ヶ月に1回は光電センサの投光面および受光面を乾いた布で清掃してください。
投光面および受光面にチリやほこりがつくと正常に作動しない場合があります。

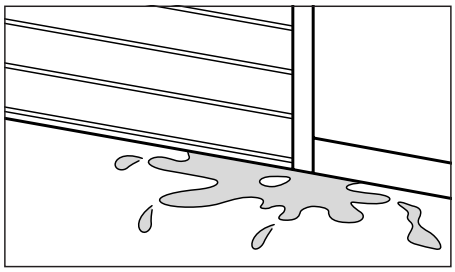


パネルやヒンジ、レールなどに手を触れないでください。
突然動きだし、思わぬけがをする場合があります。

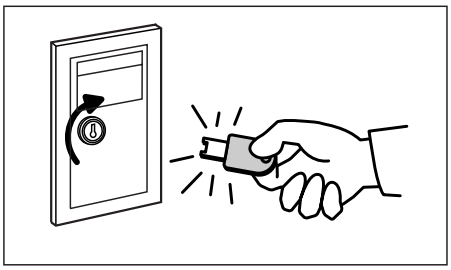
パネルやガイドレールに物を立てかけないでください。
物を立てかけたまま開閉すると、物が倒れてきて思わぬけがをする場合があります。



ガイドレールにビス止めしたり釘を打ち付けないでください。また、物をぶつけたりしないでください。
故障の原因となります。



パネルの内側に水が入ってくる場合があるので、濡れて困るものをフラットピットの近くに置かないでください。



使用しない場合は、押しボタンスイッチに鍵をかけてください。

注　記　**次の注意事項を守ってご使用ください。注意事項を守らないと本製品に故障が発生したり、性能が発揮できない場合があります。**

＜故障防止について＞

- 本製品の分解・改造は絶対にしないでください。分解・改造は電波法で禁止されています。
- リモコンを水に浸けないでください。水の中に入れると内部まで浸水して故障の原因になります。
- リモコンを落としたり、乱暴に取り扱わないでください。
- リモコンを車のダッシュボード、直射日光下で高温になるところ、湿気の多いところ、極端な温度になるところ（70℃以上または－20℃以下）に放置しないでください。
- 冬期に床面の水分が凍結して水切りが床に凍りついた場合は、水切り付近の氷を砕いてから開放操作してください。
- 雷の音が鳴り出したら早めにシャッターの電源（コンセントまたはブレーカー）を切ってください。
  落雷の大きさによっては動作しなくなるおそれがあります。

＜誤動作について＞

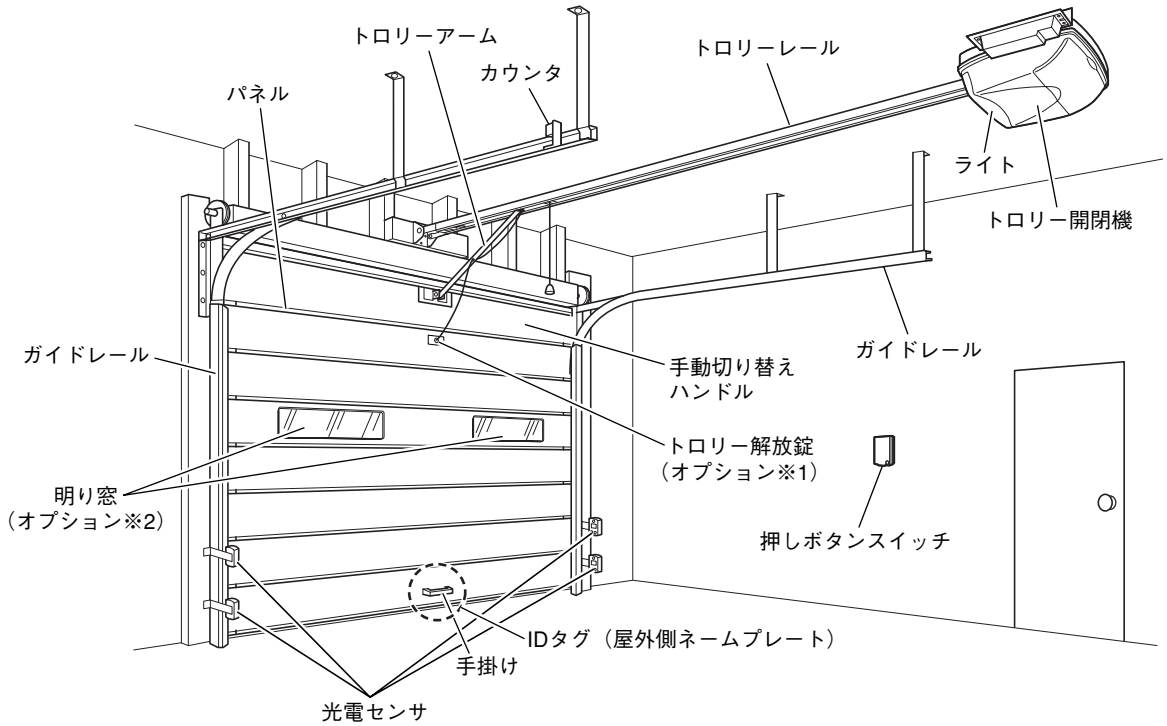
- リモコンに強い磁気を近づけないでください。リモコン内部の電子部品が磁気により正常に動作しない場合があります。
- 電波式無線中継局からの強電界の電波がリモコンに加わった場合、到達距離が短くなったり、正常に動作しないことがあります。また非常に強力な電波（不法CB等）がリモコンに加わった場合、誤動作する恐れがあります。
- 静電気などの影響により正常に動作しない場合があります。
- 長時間ご使用にならない場合は、電波障害等による誤動作を防ぐため、シャッターの電源を切ってください。

＜保管・電池交換について＞

- 長時間ご使用にならない場合は、腐食防止のため電池を外してください。
- リモコンはお子様の手の届かない安全なところに保管してください。
  電池を飲み込んだり、誤った操作をして生命にかかわる事故になる場合があります。万一、電池を飲み込んだ場合には直ちに医師にご相談ください。
- 電池は分解、加工、充電、ショート、加熱、火中投入などしないでください。
  液漏れ、発火、発熱、破裂の原因となります。
- 電池を破棄する場合はテープなどで巻いて絶縁してください。
  他の金属や電池を混ぜると発火、破裂の原因となります。

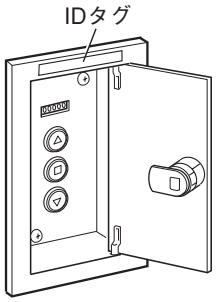
2. 製品の概要

本体の名称

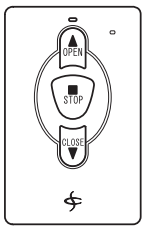


※1　フラットピットBAのオプション設定はありません。
※2　フラットピットBAの場合、設置箇所に制限があります。
　　設置可能箇所：高さ1800mm以上であること。かつ、中央部の1000mmを除いた左右部分であること。

操作スイッチ



3点式押しボタンスイッチ



セレカード（リモコンスイッチ）

製品仕様

使用条件	周囲温度	ー 10℃～40℃（凍結は除く）	
	周囲湿度	RH85%以下	
	特殊条件	沿岸部、化学工場などの腐食性環境および粉塵発生環境は除く	
仕　　様	耐久性	1万回または10年※1 ・定期点検を行い、製品の維持管理を行った場合。 ・使用環境・使用頻度により短くなる場合があります。	
	電　　圧	AC100V　50/60Hz	
	開閉機出力	400W（待機時5W）	
	開閉速度	上昇時(高さ3mの場合)	約15秒
		降下時(高さ3mの場合)	約15秒
	最大寸法	最大間口6m、最大高さ3mの場合 パネル重量は210kg以下	

※1　性能・機能を維持し、安全にお使いいただくためには定期点検が必要です。
特にワイヤおよびバネは、ご使用状態によっては破損時に急激なパネル降下につながる恐れがあります。必ず定期点検をご依頼ください。（30ページ参照）

防犯性能の高い建物部品について

防犯性能の高い建物部品とは

●「防犯性能の高い建物部品」は、メーカーがそれぞれの独自基準で謳う防犯性能とは異なり、官民合同会議が客観的な視点で評価した防犯性能です。
具体的には認定試験員が被害実態に基づき規定された細則による破壊再現を行い、5分の試験抵抗時間が認められたものでありますが、この「5分間」という基準は、抵抗力の強さを判断するための指標であって、全ての破壊侵入に対して「5分間の抵抗時間」があるという意味ではありません。

防犯性能を維持するために

●「防犯性能の高い建物部品」についてもメンテナンスが必要です。
30ページに記載の「5.点検」をご覧いただき、製品に不具合がないことをご確認ください。
特に、製品の鍵部分については施錠状態を特にご確認ください。
なお、部品交換の際は、「防犯性能の高い建物部品」に使われる部品を使用する必要があります。

侵入盗に対する補償について

●「防犯性能の高い建物部品」は、客観的に評価された防犯性を有する製品ではありますが、侵入を完全に防ぐものではありません。したがって、侵入盗の破壊による製品の破損が防犯性能の限度を超える破壊であれば瑕疵担保責任には該当しません。
通常のご使用での製品保証については、裏表紙に記載の「9.製品保証」をご覧ください。

3. ご使用方法

警告 **2ページの「ご使用上の注意」の警告事項を守ってご使用ください。警告事項を守らないと人身事故や重大事故につながる場合があります。**

● 押しボタンスイッチは、お選びいただいた型式により形が異なります。

※ 2分以内に連続開閉（2～3回）した場合、上昇時の開閉速度は開閉機の保護機能により約2／3の速度に減少します。連続開閉から2分間休止していただくと、元の速度にもどります。

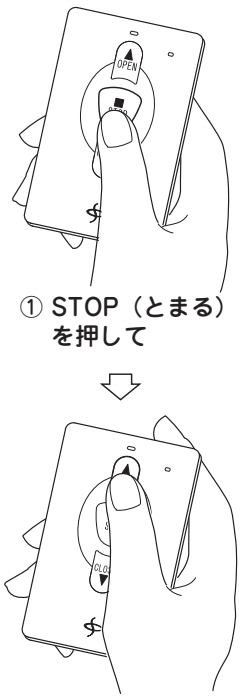
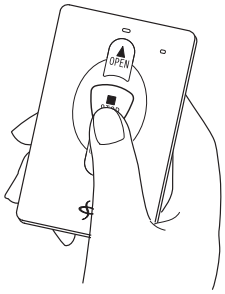
無線リモコン・押しボタンスイッチによる操作

注　記

- **セレカードⅢ3点式には、スイッチ1回押しの設定と、リモコンの誤操作防止のためのスイッチ2回押しの設定の2種類あります。**
  該当する方の使い方をご確認ください（ご購入時は2回押しの設定になっています）。設定はお客様にて切り替えることも可能です。詳細は、22ページ「スイッチ操作の切替方法（セレカードⅢ3点式のみ）」を参照してください。
- **セレカードⅢ3点式の2回押し操作は、リモコンをカバンや服のポケットの中に入れた時に、誤ってスイッチが押され、意図せずシャッターが動き出すのを防止しています。**
  また、子供が誤ってリモコンを操作するのを防止しています。
  誤った操作をした場合、人やものがシャッターに挟まれる場合があるので、安全性を考慮し2回押し操作でお使いになることを推奨します。
- **リモコンのスイッチを押すときは、シャッターに向け1～2秒軽く押してください。**
  強く押し続けると、故障の原因となります。
- **5分以上の連続開閉はしないでください。保護装置により開閉機が止まる場合があります。この場合は10分程休ませると再び開閉できます。**

リモコンを使っての操作

2回押し操作の場合

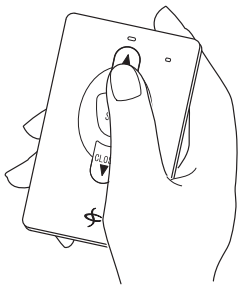
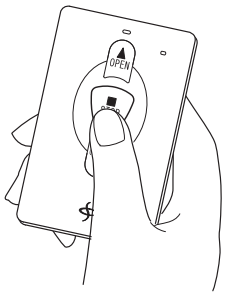
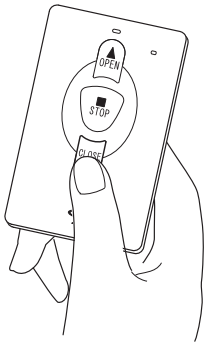
開けるとき	停止するとき	閉めるとき
「ＳＴＯＰ」スイッチを押して、続けて「ＯＰＥＮ」スイッチを押す シャッターが上昇し、全開位置（完全に開いた位置）で自動停止します。  ① STOP（とまる）を押して ② OPEN（あける）を押す	「STOP」スイッチを１回押す シャッターが停止します。  ① STOP（とまる）を押す	「ＳＴＯＰ」スイッチを押し、続けて「ＣＬＯＳＥ」スイッチを押す。 シャッターが降下し、全閉位置（完全に閉じた位置）で自動停止します。 ① STOP（とまる）を押して ② CLOSE（しめる）を押す

※ スイッチの早押しや連続押しの際には、リモコン操作を受け付けない場合がありますのでご注意ください。（スイッチ連続押しを３秒以上行った場合は、無線設備規制により２秒間リモコン操作を受け付けない時がありますが、故障ではありません。）

※ ２回押し操作の場合、１回目のスイッチを押すと、送信ランプ（赤）が３秒間点滅します。この間に２回目のスイッチを押してください。

※ 2回押し操作の場合でも、「STOP」スイッチを押してシャッターを停止後3秒以内は、「OPEN」または「CLOSE」スイッチの１回の操作でシャッターが動きます。

1回押し操作の場合

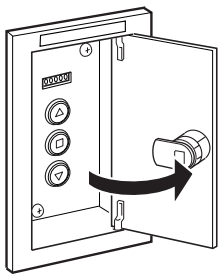
開けるとき	停止するとき	閉めるとき
「OPEN」スイッチを1回押す シャッターが上昇し、全開位置（完全に開いた位置）で自動停止します。  ① OPEN（あける）を押す	「STOP」スイッチを1回押す シャッターが停止します。  ① STOP（とまる）を押す	「CLOSE」スイッチを1回押す シャッターが降下し、全閉位置（完全に閉じた位置）で自動停止します。  ① CLOSE（しめる）を押す

※ スイッチの早押しや連続押しの際には、リモコン操作を受け付けない場合がありますのでご注意ください。（スイッチ連続押しを3秒以上行った場合は、無線設備規制により2秒間リモコン操作を受け付けない時がありますが、故障ではありません。）

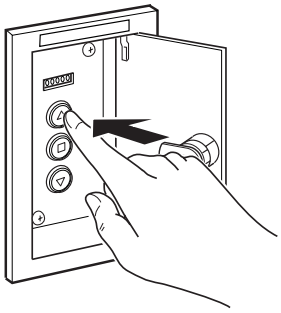
押しボタンスイッチを使っての操作

1 鍵を差し込み右にまわします。

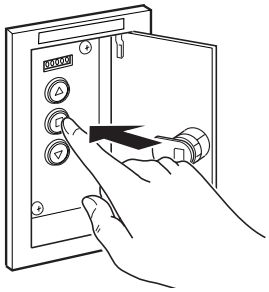
2 フタをあけます。



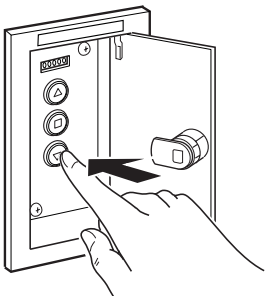
3 上昇させるときは､｢開｣ボタンを押します。



4 上昇または降下を停止するときは、「停」ボタンを押します。



5 降下させるときは､｢閉｣ボタンを押します。



6 フタをしめます。

7 鍵を左にまわし、ぬきます。

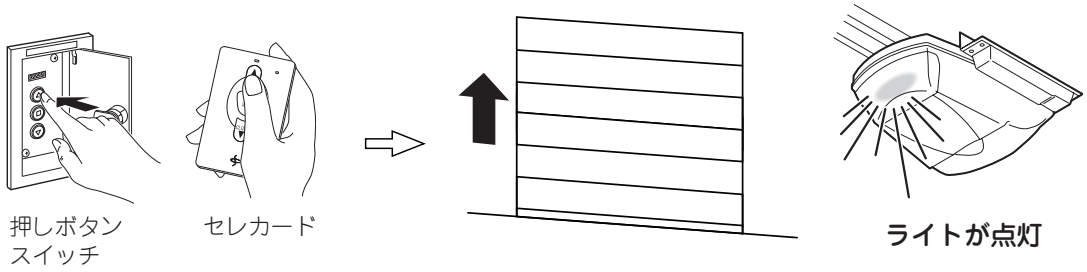
8 フタがロックされているか確認します。

9 鍵を大切に保管します。

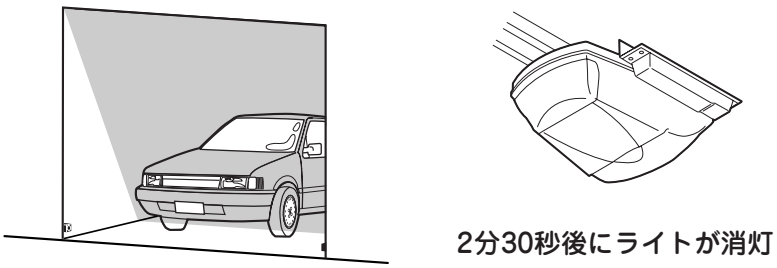
シャッターの動きとライトの状態

開けるとき

1 リモコンまたは押しボタンスイッチで「開ける」操作をすると、上昇しライトが点灯します。

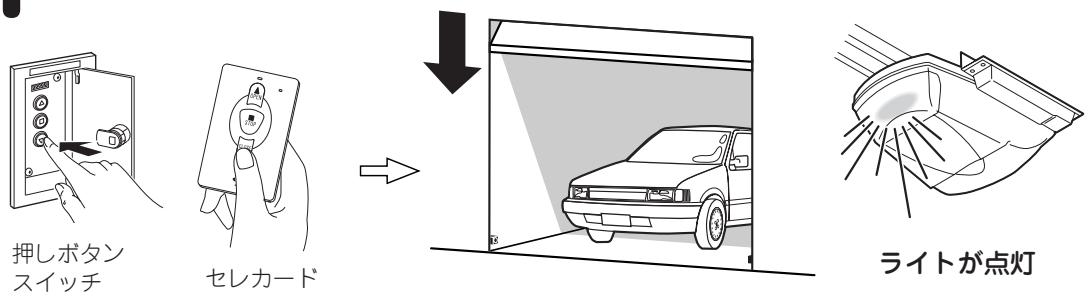


2 全開位置で自動停止します。
ライトは停止後 2 分 30 秒経過すると自動的に消灯します。

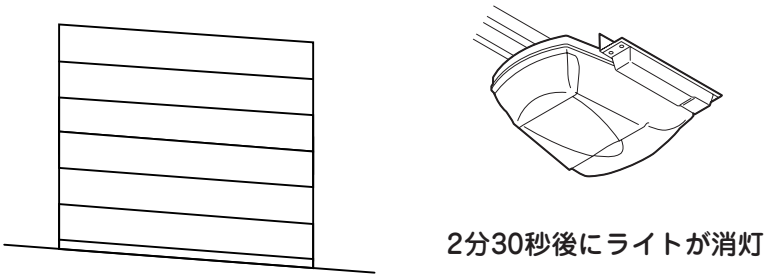


閉めるとき

1 リモコンまたは押しボタンスイッチで「閉める」操作をすると、降下しライトが点灯します。

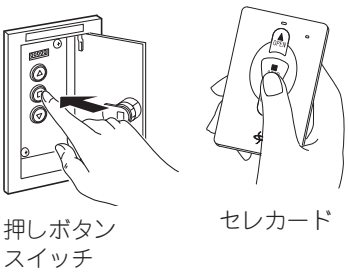


2 全閉位置で自動停止します。
ライトは停止後 2 分 30 秒経過すると自動的に消灯します。



ライトの点灯・消灯

● 3 点式押しボタンスイッチ・リモコンスイッチからライトの点灯・消灯をすることができます。



1 リモコンスイッチの「STOP」スイッチ、または押しボタンスイッチの「停」ボタンを押すと点灯します。

2 もう一度、「STOP」スイッチ、または「停」ボタンを押すと消灯します。
（2 分 30 秒後に自動消灯します）

リモコンの電池交換

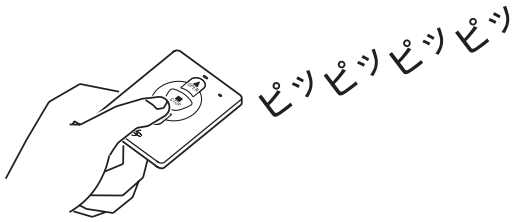
● 電池が消耗すると、到達距離が短くなるなど正常な動作をしません。
電池は、通常１年を目安に交換してください。

注　記

● **電池は指定のものを使用してください。**
（コイン形リチウム電池　　CR2025 型×１個）
● **＋、－の極性を間違えないでください。**

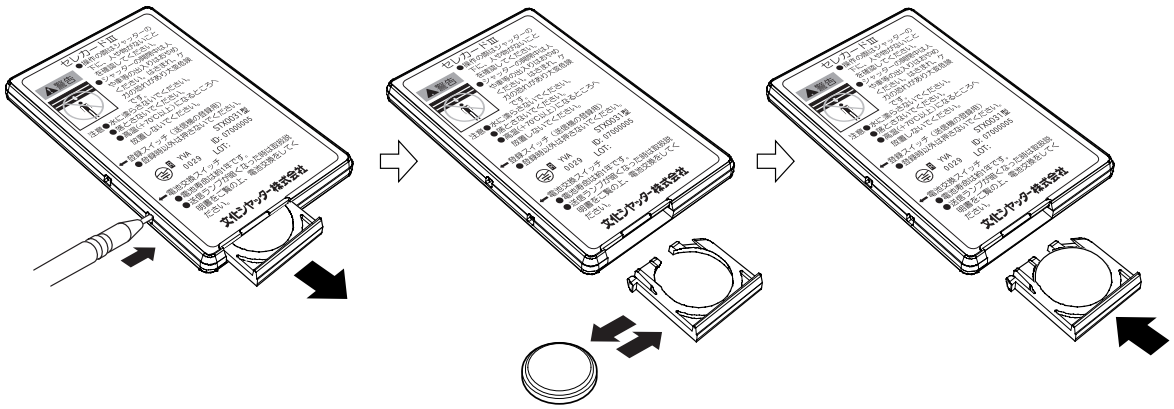
電池消耗時の確認動作

スイッチを押している間、音が鳴りつづける場合は、電池容量が低下しています。



電池交換方法

● 電池が落下しないように、机の上で交換してください。



側面の電池交換スイッチをボールペン等の先で押すと電池ケースがスライドします。電池ケースをリモコンから引き出してください。

新しい電池と交換してください。
電池の＋マークは下になります。

電池ケースを元に戻してください。

リモコン（ID コード）を追加登録する方法

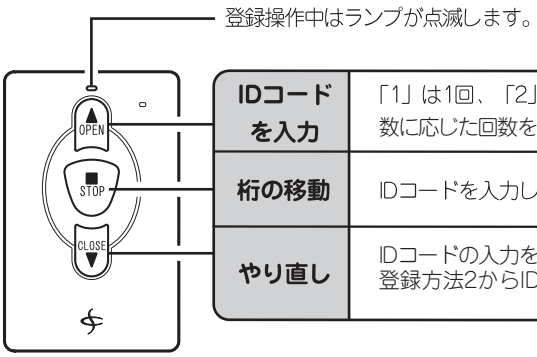
- 現在ご使用中のリモコンを使って、新しいリモコンの登録をしてください。
  新しいリモコンから直接登録はできません。
- リモコンの追加登録は、お客様にて行うことも可能です。
- 当社においても有償にて請負いいたします。33ページ記載の文化シャッターサービス株式会社にご連絡ください。

注意

- **リモコンの追加登録は、シャッターの見えるところで行ってください。シャッターにリモコンの電波が届かないところでは、リモコンの追加登録はできません。**
- **登録操作中のリモコンからのシャッター操作は無効となります。**
- **登録・抹消以外の目的で登録スイッチを操作しないでください。**

ID コードを入力するときのスイッチの役割

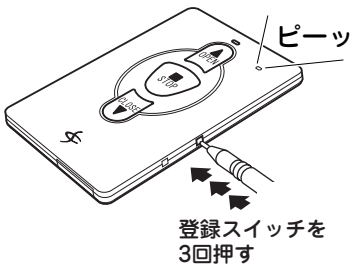
現在ご使用中のリモコン



IDコードを入力	「1」は1回、「2」は2回・・・。 数に応じた回数を押す。「0」は押さない。
桁の移動	IDコードを入力したあと、次の桁に移動するとき1回押す。
やり直し	IDコードの入力を間違えた場合に、このスイッチを押して、もう1度登録方法2からIDコードの入力をやり直してください。

1 **現在ご使用中のリモコンの登録スイッチを 3 回押すと、ブザーが 1 秒間鳴ります。**

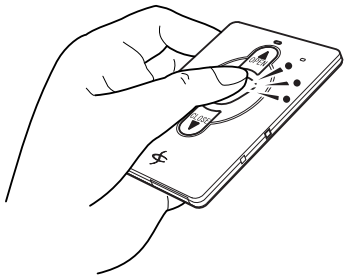
現在ご使用中のリモコン



登録スイッチを押してから 1 分間何も操作しないと登録操作は無効となります。登録方法1からやり直してください。

2 新しいリモコンの裏面に記載してあるIDコードを、現在ご使用中のリモコンを使って下記の手順で入力します。

現在ご使用中のリモコン



新しいリモコン

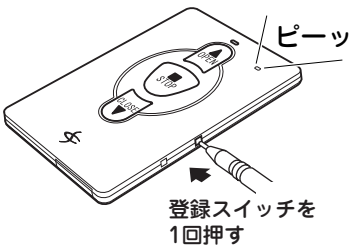
入力回数を間違えた場合には、CLOSEスイッチを押してもう1度登録方法2からIDコードの入力をやり直してください。
登録を途中で中止したい場合には、1分間リモコンを操作しないでください。
（1分後に登録操作が解除されてシャッター操作が可能になります）

例　登録する新しいリモコンのIDコードが「07650043」の場合

IDコード	0	→	7	→	6	→	5	→	0	→	0	→	4	→	3	
スイッチの操作	何も押さない	STOPを1回押す	OPENを7回押す	STOPを1回押す	OPENを6回押す	STOPを1回押す	OPENを5回押す	STOPを1回押す	何も押さない	STOPを1回押す	何も押さない	STOPを1回押す	OPENを4回押す	STOPを1回押す	OPENを3回押す	STOPを1回押す

3 現在ご使用中のリモコンの登録スイッチを1回押します。ブザーが1秒間鳴り、登録が完了です。登録が完了したら、新しいリモコンでシャッターの開閉をして動くことを確認してください。シャッターが動かない場合は、再度登録方法1からやり直してください。

現在ご使用中のリモコン



※ 新しいリモコンでシャッターが開閉しない場合、受信機の最大登録台数が越えていることも考えられます。

リモコン（ID コード）を抹消する方法

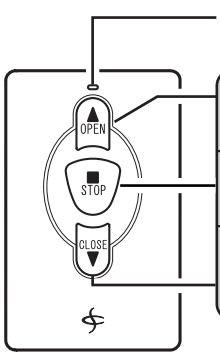
- 現在ご使用中のリモコンを使って、リモコンの抹消をします。
- リモコンの抹消は、お客様にて行っていただきます。
- 当社においても有償にて請負いいたします。33ページ記載の文化シヤッターサービス株式会社にご連絡ください。

注意

- **リモコンを盗難・紛失した場合は、このページの手順にしたがい紛失したリモコンを使えないようにする必要がありますが、その際紛失したリモコンのID コードが必要となります。IDコードがわからない場合は、33ページに記載してある文化シヤッターサービス株式会社までご連絡ください。**
- **リモコンの抹消は、シャッターの見えるところで行ってください。シャッターにリモコンの電波が届かないところでは、リモコンの抹消はできません。**
- **抹消操作中のリモコンからのシャッター操作は無効となります。**
- **登録・抹消以外の目的で登録スイッチを操作しないでください。**

ID コードを入力するときのスイッチの役割

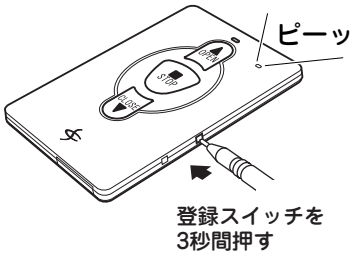
現在ご使用中のリモコン



IDコードを入力	「1」は1回、「2」は2回・・・。 数に応じた回数を押す。「0」は押さない。
桁の移動	IDコードを入力したあと、次の桁に移動するとき1回押す。
やり直し	IDコードの入力を間違えた場合に、このスイッチを押してもう1度抹消方法2からIDコードの入力をやり直してください。

1 現在ご使用中のリモコンの登録スイッチを 3 秒間押すと、ブザーが 1 秒間鳴ります。

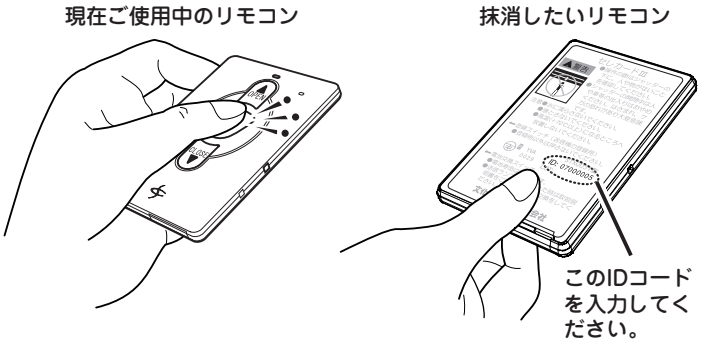
現在ご使用中のリモコン



登録スイッチを押してから 1 分間何も操作しないと抹消操作は無効となります。抹消方法1からやり直してください。

2

抹消したいリモコンの裏面に記載してあるIDコードを、現在ご使用中のリモコンを使って下記の手順で入力します。紛失したリモコンのIDコードは、21ページの「リモコン（IDコード）の管理表」に貼付けたIDコードシールを見て、IDコードの入力をしてください。



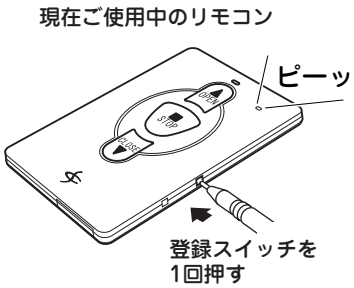
入力回数を間違えた場合には、CLOSEスイッチを押してもう1度抹消方法2からIDコードの入力をやり直してください。
抹消を途中で中止したい場合には、1分間リモコンを操作しないでください。
（1分後に抹消操作が解除されてシャッター操作が可能になります）

例　抹消したいリモコンのIDコードが「07650043」の場合

IDコード	0	→	7	→	6	→	5	→	0	→	0	→	4	→	3	
スイッチの操作	何も押さない	STOPを1回押す	OPENを7回押す	STOPを1回押す	OPENを6回押す	STOPを1回押す	OPENを5回押す	STOPを1回押す	何も押さない	STOPを1回押す	何も押さない	STOPを1回押す	OPENを4回押す	STOPを1回押す	OPENを3回押す	STOPを1回押す

3

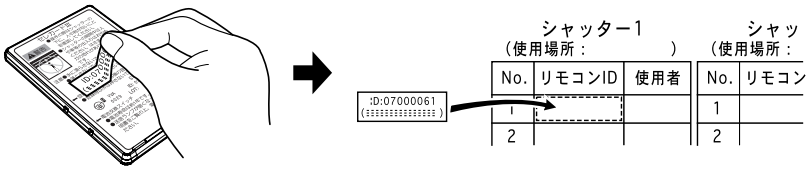
現在ご使用中のリモコンの登録スイッチを1回押します。ブザーが1秒間鳴り、抹消が完了です。抹消したリモコンがお手元にある場合は、抹消したリモコンでシャッターの開閉をして動かないことを確認してください。シャッターが動く場合は、再度抹消方法1からやり直してください。



※ 抹消したリモコンがお手元になく、より確実に抹消したい場合は、33ページに記載してある文化シヤッターサービス株式会社にご依頼ください。すべてのリモコンの登録をリセットし、再登録し直します。（有償）

リモコン（ID コード）の管理のお願い

- リモコンを紛失した場合、もしくは盗難された場合にリモコン（ID コード）の登録を受信機から抹消する必要があります。リモコン裏面の ID コードシールを下表に必ず貼付してください。（シールが無い場合には、登録が抹消できない可能性がありますのでご了承願います）
- リモコン裏面の ID コードシールを下表の「リモコン ID」の欄へ貼付の上、リモコン紛失時において ID コードが照合できるように使用者名を下表へご記入ください。
- シールを紛失された場合には、リモコン裏面の ID コードを「リモコン ID」の欄へご記入ください。



リモコン（ID コード）の管理表

シャッター1
（使用場所：　　）

No.	リモコン ID	使用者
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		

シャッター2
（使用場所：　　）

No.	リモコン ID	使用者
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		

シャッター3
（使用場所：　　）

No.	リモコン ID	使用者
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		

スイッチ操作の切替方法（セレカードⅢ 3点式のみ）

- 3点式リモコンの、2回押し操作と1回押し操作の切り替えを行います。
- 1回押し操作の場合、誤ってスイッチが押され、意図せずにシャッターを動作させてしまう可能性がありますので、特に必要が無い限り、2回押し操作でのご使用を推奨します。
- 本設定は、お客様にて行っていただきます。
- 当社においても有償にて請負いいたします。33ページに記載してある文化シヤッターサービス 株式会社にご連絡ください。

⚠ 注意

- **3点式リモコンの購入時の初期設定は、スイッチ2回押し設定です。**
- **STOPスイッチを操作して設定の切替を行います。**
- **設定中にSTOP以外のスイッチが押されると、切替操作が無効になります。**
- **設定中は、リモコンからのシャッター停止操作が無効になります。**

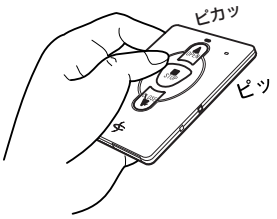
注　記

各手順の操作は、前の手順の操作後3秒以内に行ってください。3秒以内に行わないと、切替操作は無効になります。
無効になった場合は、切替方法1からやり直してください。

1 STOPスイッチを5秒間押すと、ブザーが2回鳴ります。
（ランプも2回点滅します）

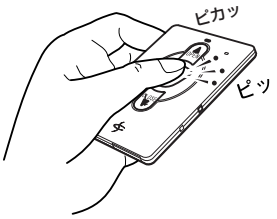
3秒以内に

2 STOPスイッチを離すと、ブザーが1回鳴ります。
（ランプも1回点滅します）



3秒以内に

3 STOPスイッチを1回押すと、ブザーが1回鳴ります。
（ランプも1回点滅します）



3秒以内に

4 もう一度、STOPスイッチを1回押すと、ブザーが3回鳴ります。
（ランプも3回点滅します）

3秒以内に

5 最後に、STOPスイッチを3回押すと、ブザーが5回鳴り、設定が完了します。
（ランプも5回点滅します）

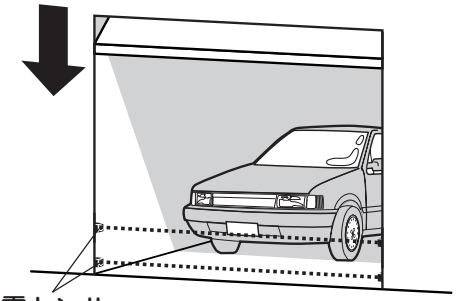
● 元の操作方法に戻す場合も、同様の切替操作を行ってください。

光電センサの動作

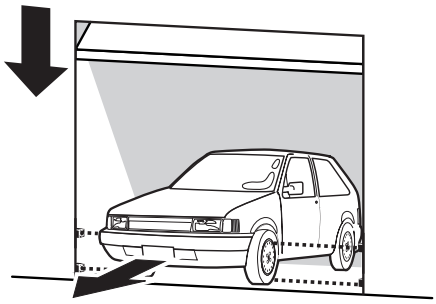
● 光電センサは降下中に障害物を感知すると、反転上昇します。

降下中に感知した場合

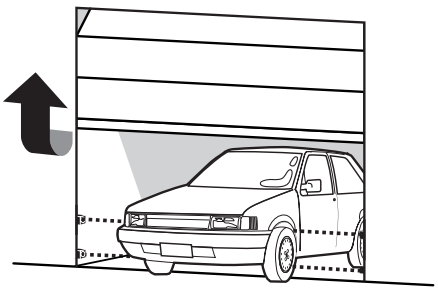
1 フラットピット降下。



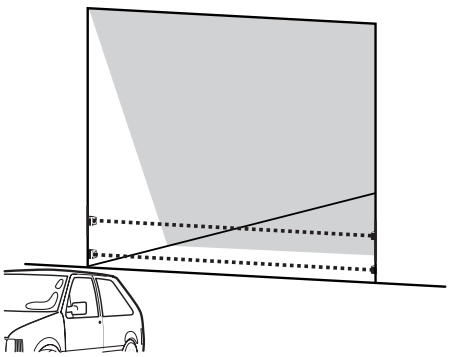
2 光電センサが障害物を感知します。



3 反転し上昇、全開にて停止します。

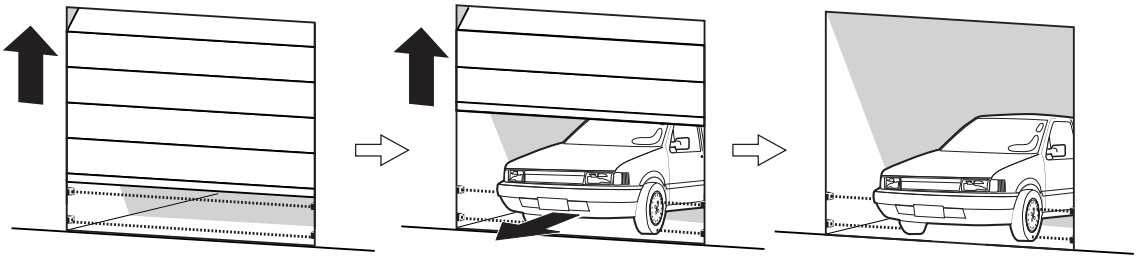


4 障害物を取り除いてください。通常どおり使用できます。



上昇中に感知した場合

上昇中に光電センサが障害物を感知した場合、上昇を続け全開にて停止します。



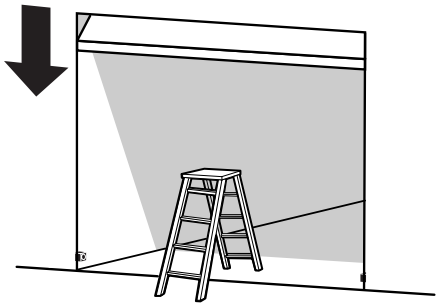
上昇中　感知　全開にて停止

負荷感知装置が負荷を感知した場合の動作

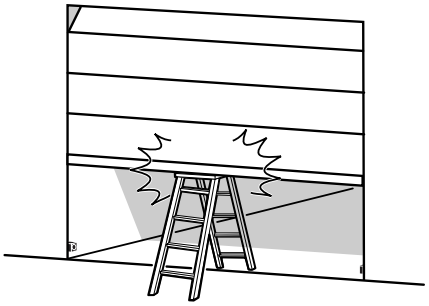
● 障害物感知装置は降下中に障害物を感知すると、反転上昇します。

警告 **2ページの「ご使用上の注意」の警告事項を守ってご使用ください。警告事項を守らないと人身事故や重大事故につながる場合があります。**

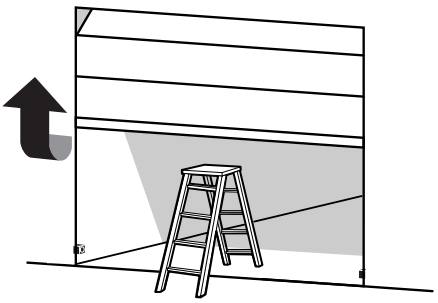
1 フラットピット降下。



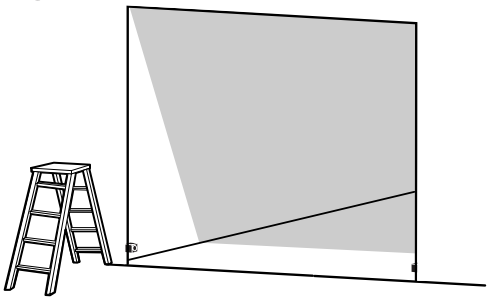
2 パネル下端に障害物があたり負荷を感知します。



3 反転し、約70cm上昇して停止します。



4 障害物を取り除いてください。通常どおり使用できます。



※ 負荷感知装置は、製品の故障を防ぐものであり、必ずしも事故を防ぐものではありません。パネルの重量や、接触した位置により反転までにかかる負荷が変わりますので、パネルの下に障害物がないことを確認して操作してください。

非常時（停電時）の使い方

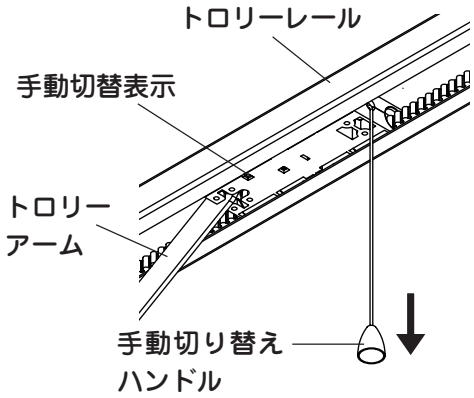
警告 高所作業を伴う場合は、ヘルメット・安全帯の着用、必要な足場の確保など、墜落・転落事故を予防してください。高所作業の際、少しでも不明な点、不安な点がある場合は33ページ記載の文化シヤッターサービスまで作業をご依頼ください(ご依頼いただいた場合、有償になります)。

注　記

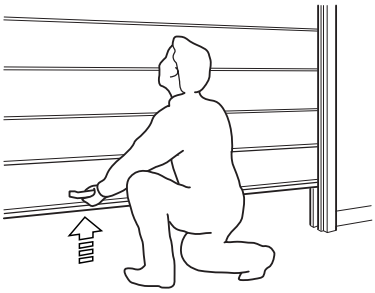
- 停電時など非常時以外は使用しないでください。
- パネルの下に、人や物がないことを確認してから操作してください。
- 手動でパネルを動かすときはゆっくり動かしてください。勢いをつけて動かすと故障の原因になります。
- 手動操作に切り替えた場合、必ず電動操作に戻してください。手動操作のままでは鍵がかかりませんので盗難の恐れがあります。

電動から手動に切り替える（屋内側からの操作）

1 手動切り替えハンドルを真下に引くと、手動に切り替わり、手動切替表示が赤色に点灯します。



2 手掛けを持って動かしてください。



警告

- 停電など非常時に手動操作に切り替えた後は、必ず電動操作に戻してください。
  電源復帰時に手動切替状態で電動操作すると、パネルが上限停止位置で停止せず、降下することがあります。
- パネルの下に人のいないことや、物のないことを確認してからご使用ください。

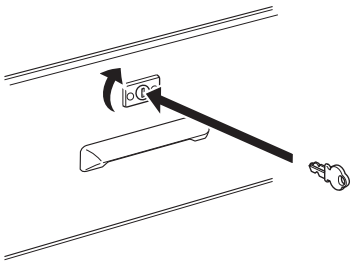
注　記

- 雷の影響で故障するおそれがあります。雷が鳴り出したら、ブレーカーを切るか電源コンセントを抜いてください。

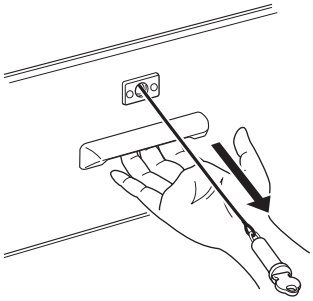
電動から手動に切り替える（屋外側からの操作）

● この操作は、トロリー解放錠（オプション）を設置した場合の説明です。

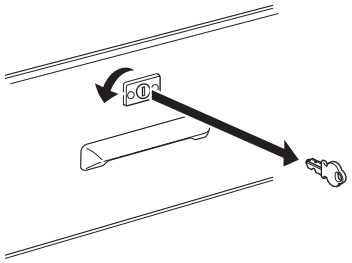
1 鍵を差し込み右にまわします。



2 そのままシリンダー部を引き抜き引っ張り、パネルを10cm程持ち上げます。

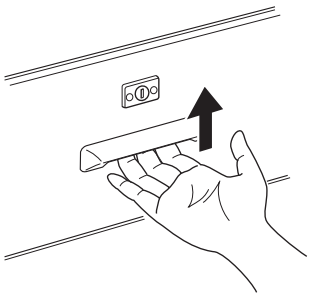


3 シリンダー部を元に戻します。鍵を左にまわして抜きます。



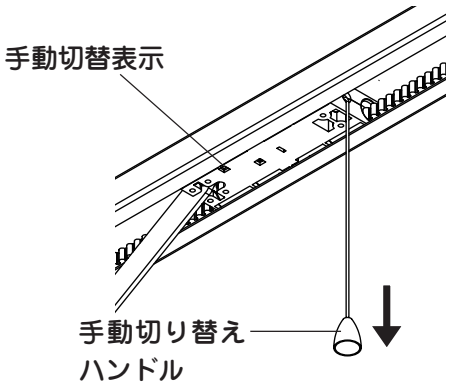
※シリンダー部を引き抜いたままパネルを動かすと、パネルに傷がつく恐れがあります。

4 手掛けを持ってパネルを上に動かしてください。

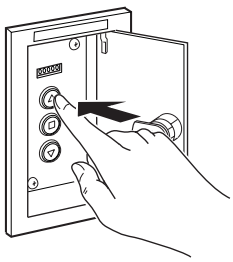


手動から電動に切り替える

1 手動切り替えハンドルを真下に引くと、電動に切り替わり、手動切替表示が白色に点灯します。



2 一度押しボタンスイッチで操作して、電動に切り替わったことをご確認ください。



4. お手入れ方法

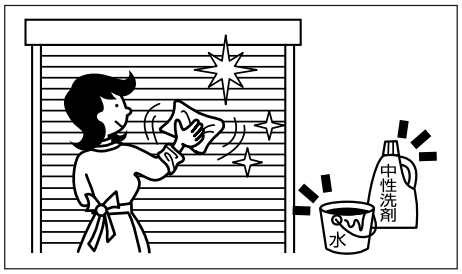
お手入れの仕方

注　記

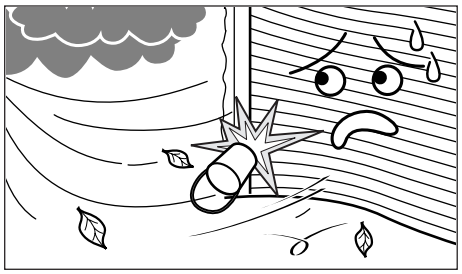
- **押しボタンスイッチや障害物感知装置に水がかかると、故障の原因となります。**
- **製品へのキズを避けるため、金属ブラシ、たわし、みがき粉等の硬いものでこすらないでください。製品にキズがつくと、錆の原因となります。**
  お手入れの際は、柔らかい布をご使用ください。
- **各部への給油は、指定の潤滑剤をご使用ください。**
  指定外の潤滑剤を使用すると、軋みや音鳴りの原因となります。
- **酸性またはアルカリ性の洗剤、ベンジン、シンナー、ガソリンなどの有機溶剤は、変色や腐食の原因となりますので使用しないでください。**

スチール、アルミ部品共通のお手入れ

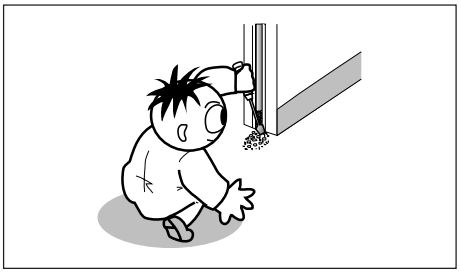
雨などにより、泥、ほこりなどが付着しますと錆の発生を早め、美観上からも好ましくありません。
パネルおよびガイドレールが汚れた場合は、ぬれた布などで汚れを落とした後、固く絞った布などで水分をふきとってください。



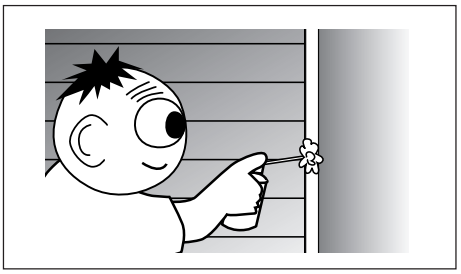
水洗いで落ちない汚れは、ぬるま湯で薄めた中性洗剤を使用した後、水洗いし、最後に乾いた布で水分をふき取ってください。



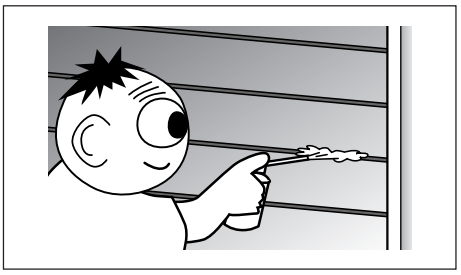
強風の際（特に台風の場合）は、塩分が内陸部まで飛来することがあるので、風が収まった後、出来るだけ早い時期の清掃が必要です。



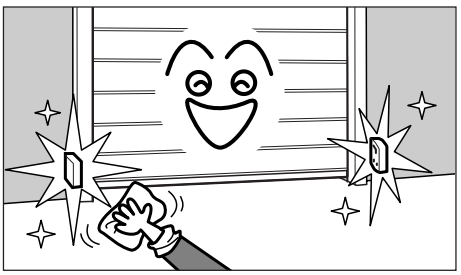
ガイドレール底部には泥などがたまりますので、一週間に一度くらい除去してください。



部品の磨耗を抑えるため、1年に1回程度、パネルとガイドレールの隙間に給油してください。
潤滑剤は、文化シヤッター製「オーバースライディングドアスプレーグリス」をご使用ください。



パネル同士の音鳴り予防のため、1年に1回程度、パネルとパネルの連結部に給油してください。
潤滑剤は、住鉱潤滑剤（株）製「スミテックＦスプレー」をご使用ください。
「スミテックＦスプレー」はアルミ摺動部に使用する専用の潤滑剤です。指定外の潤滑剤は、軋みや音鳴りの原因となりますので、使用しないでください。



光電センサにチリやほこりが付着すると正常に作動しない場合があります。1ヶ月に１回は乾いた布で表面を清掃してください。

お手入れ回数の目安

- 清掃は、下記の基準を目安とし、定期的に行ってください。
- いつもきれいに清掃しておくことがフラットピットを長持ちさせる一番の方法です。

（１年あたりの回数）

	海岸地帯	工業地帯	市街地	田園地帯
スチール（塗装品）	１～４	１～３	１～２	１
アルミ（クリア塗装）	１～４	１～３	１	１

回数はあくまでも目安なので、汚れの状況をみて、適宜清掃回数を増やしてください。

消耗品について

- 開閉機の電球は、フラットピット専用電球です。
- フラットピット専用オイルは、住鉱潤滑剤(株）製「スミテックＦスプレー」です。
- 消耗品は、33ページに記載の文化シヤッターサービスまでご用命ください。

5. 点検

日常点検

警告 必ず以下の日常点検を行ってください。日常点検を行わないと人身事故や重大事故になる場合があります。
日常点検で不具合を発見したら、ただちに使用を止め33 ページに記載してある文化シヤッターサービスまでご連絡ください。
また、地震発生後など、シャッターに大きな力が作用した場合も、文化シヤッターサービス株式会社にご連絡いただき、点検を依頼されることをお勧めします。

1 フラットピットの開閉状態について以下の事項をご確認ください。
- パネルが左右に大きく傾いていないこと。
- 今までと違った異音がしないこと。
- 今までと違った振動がしないこと。
- 外観に使用上有害な変形がないこと。
- 上限下限で停止すること。
- 停止してからパネルが滑り落ちないこと。

2 警告ラベルの脱落、破れ、はがれなどの破損がないかお確かめください。読めなかったり、正しく張られていなかったり、破損していたら、新しいラベルと交換してください。

3 フラットピットが降下する場所に、人や物がないことをご確認ください。
物がある場合は、フラットピットの下から物を移動させてください。

4 押しボタンスイッチの操作が容易に行える状態にあるかご確認ください。

定期点検と定期的な部品交換について

警告
- **定期点検と定期的な部品交換は、必ず行ってください。適切な定期点検や定期的な部品交換を行わないと、フラットピットが開閉できないだけでなく、急降下などの重大事故につながる場合があります。**

- フラットピットは、長期間に渡って使用するものです。安全性維持のためには、定期点検と定期的な部品交換が必要です。
- 定期点検では、動作状況およびパネル・ガイドレール部・巻取り部・電装部・開閉機等の機能・性能の保持のために各部品の損傷・磨耗状態をチェックし、必要に応じて調整・修復・交換・注油・ボルト等の増し締めなどを実施します。

点検実施回数の目安

● 定期点検の回数は、多いにこしたことはありませんが、1日当たり1～4回開閉している場合、年に2回の定期点検が必要です。

● 開閉回数はお客様にてご確認できます。屋内側からフラットピットに向かって、左側のガイドレール水平部分に設置されている開閉回数カウンタをご確認ください。(設置位置は8ページを参照してください。)

一日当たり開閉頻度	定期点検回数(年)
1～4回	2
5回以上	打ち合わせによる

● 実際には、フラットピットの大きさ、経過年数、使用条件および用途により点検回数は異なります。33ページに記載してある文化シヤッターサービスにお問い合わせください。

警告

腐食が進みやすい環境における定期点検の必要性について

● 沿岸地区などの自然環境、高湿な使用環境などの腐食が進みやすい環境では、一日当たりの開閉頻度に関係なく、1年に2回から4回程度の点検が必要です（回数は状況により異なります）。

● 腐食への対応を行わないと、スプリングやワイヤーが破断し、パネルの急速降下へ至るなどの重大事故につながるおそれがあります。

定期的な部品交換について（有償）

● フラットピットは、上記定期点検を実施した上で、1万回開閉を目安に定期的な部品交換を必要としています。

定期交換部品（1万回開閉が目安です）
・パネル部：ローラ、ヒンジ、水切シール
・巻取部　：フランジユニット、ワイヤ、スプリング、ガイドレール
・機構部　：開閉機、トロリーレール

定期点検契約について

警告

● 定期点検と定期的な部品交換には専門知識が必要ですので、文化シヤッターサービスにご依頼ください。
文化シヤッターサービス以外の点検は、人身事故や重大事故につながる場合があります。

● 文化シヤッターサービスと「定期点検契約」を結んでいただくと、お客様のご使用状況に合わせ、年に数回の定期点検を実施します。
詳しくは、33ページに記載してある文化シヤッターサービスにお問い合わせください。

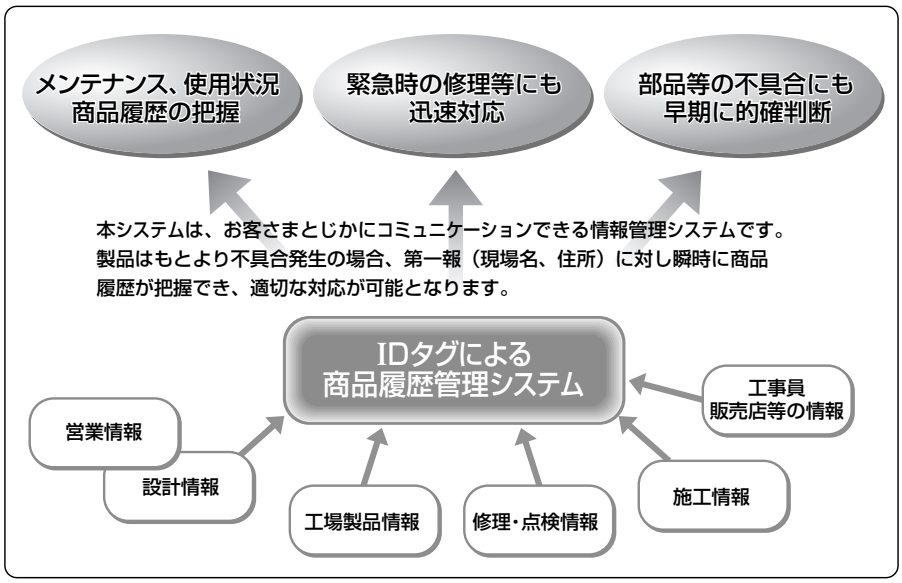
6. 故障かなと思ったら

状　　況	原　　因	対　　処
フラットピットを動かしてもライトが点灯しない。	フラットピットの電球が切れていませんか？	33 ページに記載してある文化シヤッターサービスにご連絡ください。
押しボタンを押してもフラットピットが動かない。	フラットピットの元電源（一次側電源）が切れていませんか？	フラットピットの元電源を入れてください。
	手動操作になっていませんか？	手動から電動操作に切り替えてください。（27 ページ参照）
	連続運転でトロリー開閉機が熱くなりすぎたため、保護装置が働いた。	トロリー開閉機が冷めるまで 15 分程度お待ちください。
フラットピットがすぐに反転上昇する。	光電センサを人や物がさえぎったままになっていませんか？	人や物を光電センサの感知範囲から移動させてください。
	光電センサのレンズ部分が汚れていませんか？	光電センサのレンズ部分を清掃してください。
フラットピットの開閉時に異常音がする。 フラットピットがスムーズに動作しない。	ただちに使用を中止して、33ページに記載してある文化シヤッターサービスにご連絡ください。	
ライトが点灯しない。	専用の基盤交換となります。最寄りの文化シヤッター（株）支店、営業所もしくは取扱店にご連絡ください。	

- 対処しても動かない場合は、33ページに記載してある文化シヤッターサービスにご連絡ください。
- 本製品修理については部品交換で対応いたします。なお、本製品の販売廃止後で修理不可能なものについては、新規交換が必要な場合もあります。

7.　商品履歴管理システムについて

「商品履歴管理システム」とは、お届けした製品一台に一つずつ割り当てた管理ナンバーにより、点検結果や修理結果などを一元的に管理するシステムです。
管理ナンバーは、〈IDタグ〉というラベルの表面に印字されていますので、定期点検や修理をご依頼の際は、この番号をお知らせください。
〈ID タグ〉の貼付位置は、各製品の取扱説明書をご覧ください。



8. 修理のご案内

修理のご用命はATSSへ――

突然のシャッターや窓シャッターの故障。そんな時は、文化シヤッターサービス（株）のATSS＝アットタイムサービスシステムをご利用ください。フリーダイヤルひとつで365日素早く対応いたします。

アットタイムサービスシステム

ATSS

修理に関するお問い合せは

フリーダイヤル 0120-365-113

365日いいサービス

※フリーダイヤルは携帯電話、PHS、IP電話からはご利用になれない地域がございます。その際は固定電話からおかけください。

9. 製品保証

保証期間

施工業者よりの引渡し日（注１、注２）から２年間とします。但し、その期間内でも開閉回数 1400 回までとします。
（注 1）改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。
（注 2）分譲住宅（建売住宅）・分譲マンションの場合は、建築主様への引渡し日とします。

保証内容

取扱説明書、ラベルその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合を除き、無料修理いたします。
ただし、遠隔地や離島への出張修理の場合は、交通に要する実費をいただく場合もあります。

免責事項

1. 天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、高潮、津波、地震、噴火、落雷、洪水、地盤沈下、火災 など）による不具合、又はこれらによって製品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
2. 製品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗、摩耗。木製品のそり、干割れ等）や経年劣化（樹脂部分の変質、変色など）又はこれらに伴う錆、かび又はその他の不具合
3. 製品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食又はその他の不具合（例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など）
4. 自然現象や使用環境に起因する不具合（例えば、結露・凍結、風による振動・共鳴音など）
5. 表示された製品の性能を超えた性能を必要とする場所に取り付けられた場合の不具合（例えば、カタログなどに記載された耐風圧以上の風圧に起因するものなど）
6. 建築躯体の変形など、製品以外に起因する製品の不具合
7. 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
8. 当社の手配によらない加工、組立、施工（基礎工事、取付け工事、シーリング工事など）、管理、メンテナンスなどに起因する不具合（例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用した事による変色や腐食、工事中の養生不良による変色、腐食など）
9. お客様自身の組立て、取付け、修理、改造（必要部品の取外しを含む）に起因する不具合
10. 引き渡し後の操作誤り、整備不良又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
11. 使用に伴う接触部分の摩耗・傷・塗装のはがれや時間経過による塗装の退色、樹脂部品の変質・変色、めっきの劣化又はこれらに伴う錆などの不具合
12. 施工当時実用化されていた科学や技術、知識では予測することが不可能な現象、又はこれが原因で生じた不具合
13. 犬、猫、鳥、ネズミ、昆虫、ゴキブリ、クモなどの小動物又はつるや根などの植物に起因する不具合
14. 機能上支障のない音、振動など感覚的現象
15. 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

※ 保証期間経過後の修理、交換などは有料とします。
※ 本記載によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理、その他についてご不明な場合は、最寄りの当社支店・営業所にお問い合わせください。

（尚、定期的なメンテナンスを行うことにより、機能・性能や安全性を継続的に維持することが出来ます。
長くご使用頂くためにも、ぜひ定期点検契約をお申し付け下さい。）

● お問い合わせは最寄りの文化シヤッター（株）支店、営業所もしくは取扱店にご相談ください。

● お問合せは

文化シヤッター株式会社
本社／〒 113-8535 東京都文京区西片 1 丁目 17-3
コンタクトセンター 03（5844）7111

S 2 2 3
2014.08-000-J